



TALKBACK INTERFACE

———— **TB-21** ————

INSTRUCTION MANUAL

T-0054Q2.X31.TB-21

この度はアドギア製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

ご使用前に、必ずお読みください。

 安全にご使用頂くため、次の事を必ずお守りください。

1. 設置に関して

1-1. 設置環境



引火性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。スイッチ等の操作で火花が飛んで火災が起こる危険性があります。また、腐食性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。腐食により、絶縁不良を起こし、機器故障、火災の原因になります。

その他仕様で定められた環境に於てご使用ください。

1-2. ラックマウント



ラックマウントする時は、特別の規定が無い限り5mmのISOネジを使用し、それに合ったドライバーを使用して、取り付けてください。5kgを越える機器を取り付ける時は、二人で作業し、一人はラック後面から機器を支えてください。

4本の取り付けネジはラックイヤーの下側のネジから取り付けてください。それ以外の方法で取り付けると、怪我をする場合があります。

1-3. 供給電源電圧の確認



日本国内向けのアドギア製品の供給電源電圧は特別の仕様でない限りAC100V ± 10%となっています。これ以外の電圧が加えられますと正常に動作しないばかりか、機器の故障あるいは火災の危険があります。

必ず規定の電圧を供給してください。

DC電源仕様機器の場合は規定の直流電源を正しい極性で供給してください。

DC電源仕様の機器にAC（交流）電源を供給すると機器の故障や火災の原因になりますので絶対にこの様な事はしないでください。

1-4. 電源供給



電源プラグをコンセントに差し込む時は本体の電源スイッチがOFFになっている事を確認してから差し込んでください。電源スイッチがONになったまま電源プラグを差し込むと、操作スイッチやポリウムの設定によっては接続されている機器の故障を招いたり予期せぬ動作により怪我あるいは死亡事故の原因になる危険性があります。

1-5. 機器カバーを外し



て内部の設定をする時

内部にある設定スイッチを操作する等、機器カバーを外さなければならなくなった時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま作業をすると、機器故障の原因になるばかりでなく感電等で火傷を負ったり電気ショックにより死亡する危険性もあります。

尚、この時電源のコンデンサーに電荷が残っている場合がありますので電源OFF直後のこの様な作業はやらないでください。

（コンデンサーの放電を待つ為最低3分必要です）

2. 運用中の安全確認



2-1. 電源プラグの清掃

電源プラグ付近に埃が溜まるとその埃が湿気を吸って短絡し、火災の原因になる恐れがあります。定期的に点検清掃を行ってください。点検間隔は設置環境によります。

3. 保守における安全確保



3-1.

[1. 設置に際して] の注意がそのまま適用されます。

3-2. その他

機器をラックから取り外す時は電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。また、ラックマウントねじを外す順番は、上のねじから先に外してください。5Kgを越える機器は二人で作業し、必ず一人は機器を支えてください。

CONTENTS

GENERAL	4
OPERATION	4
FRONT PANEL	4
REAR PANEL	5
TECHNICAL SPECIFICATIONS	8
BLOCK DIAGRAM	9
APPEARANCE	10

GENERAL

「TB-21」トークバックインターフェースは、ご使用になれるコンソール内部に手を加えることなく、簡単にコミュニケーションシステムを構築するユニットです。2系統のTB-1Aを接続することが可能です。ご使用されるTB-1Aにあわせて仕様を設定し、出荷いたします。

ブース内のカフのヘッドホンモニターにはトークバックおよびRTBの信号をミックスし、スタジオスピーカー系統に対してはトークバック信号を割り込みます。また、トークバックタリ-出力を使用すれば、コンソールのモニターにカットやディマーの制御を送ることも可能です。

OPERATION

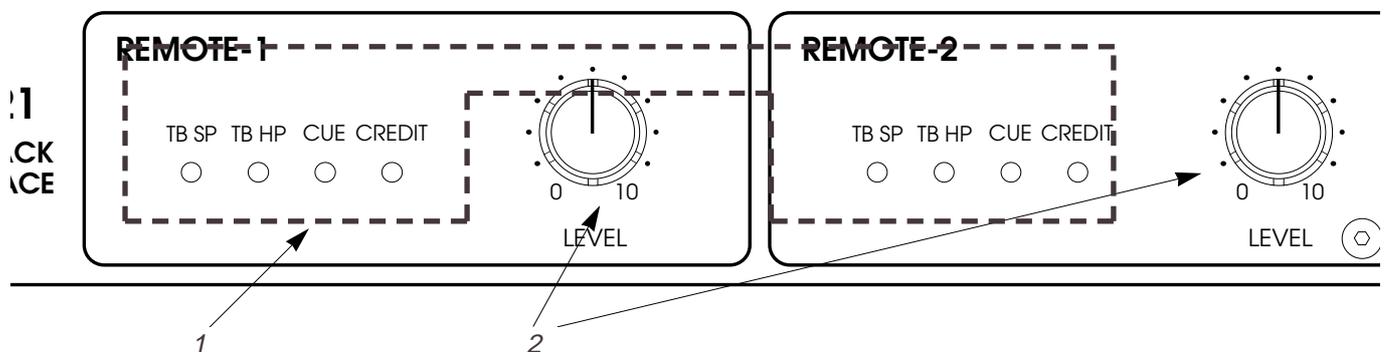
FRONT PANEL

1.TB SP、TB HP、CUE、CREDIT (REMOTE-1、2共通)

対応するトークバックリモートの状態を表示します。トークバックリモートのスイッチに割り当てられた機能が動作します。

2.LEVEL (REMOTE-1、2共通)

対応するトークバックリモートのマイクレベルを設定します。



OPERATION

3.SP CUT

スタジオスピーカーにトークバックし、モニター音声がかットされた場合に点灯します。

4.SP LEVEL

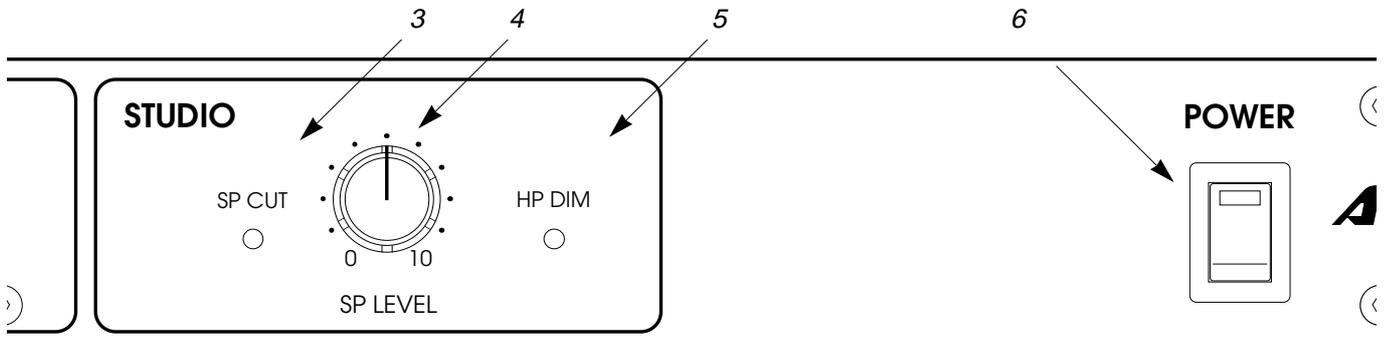
スタジオスピーカーに送るモニター音声を設定します。トークバックの信号はこのボリュームとは無関係に出力されます。

5.HP DIM

ブース内のヘッドホンにトークバックし、モニター音声がディマーされた場合に点灯します。ディマー量は20dBです。

6.POWER

TB-21の電源スイッチです。



REAR PANEL

7.MONI IN

カフボックスのヘッドホンに送りたい信号を入力します。トークバック時は、ここから入力された信号は20dBディマーされ、トークバック信号とミックスされます。

8.REMOTE-1/REMOTE-2

2台のトークバックリモートを接続できます。(DSUB15ピンメスM2.6ネジ) 使用。

9.RTB

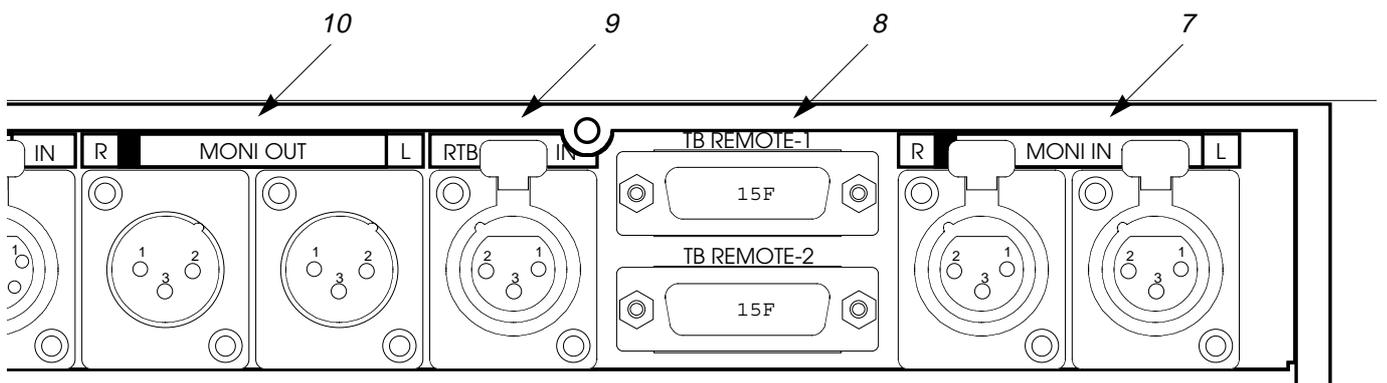
RTB入力コネクタです。MONI INの信号にミックスされます。

10.MONI OUT

カフボックスのヘッドホンに送る信号が出力されます。アドギア製カフインターフェースをご使用の場合は、「AB-1B」のMONI INコネクタと接続してください。

REMOTE (DSUB 15ピン メスM2.6ネジ)

ピンNo.	信号
1	TB OUT +.....トークバック入力 HOT
9	TB OUT -トークバック入力 COLD
2	GND
10	Y_SW1SW1 制御入力
3	Y_SW2SW2 制御入力
11	GND
4	MONI Lch.....モニター出力。アンバランス
12	MONI Rchモニター出力。アンバランス
5	GND
13	Y_SW3SW3 制御入力
6	Y_SW4SW4 制御入力
14	GND
7	+24V電源出力
15	GND
8	GND



OPERATION

11.STD SP IN

スタジオスピーカーに送りたい信号を入力します。トークバック時はここから入力した信号はカットされ、トークバック信号のみが出力されます。プロダクション業務等でカフボックスの状態とは無関係にスピーカーにトークバックしたい場合は、アドギア製AB-1BのSTD SP OUTと接続します。この場合でも、ON AIRタリーを入力することでスピーカーへのトークバックを禁止することができます。

12.STD SP OUT

スタジオスピーカーに送る信号が出力されます。通常の放送業務の場合、アドギア製AB-1BのSTD SP INと接続することで、カフが上がった状態でのスピーカーへのトークバック禁止が可能です。

13.COMMAND IN

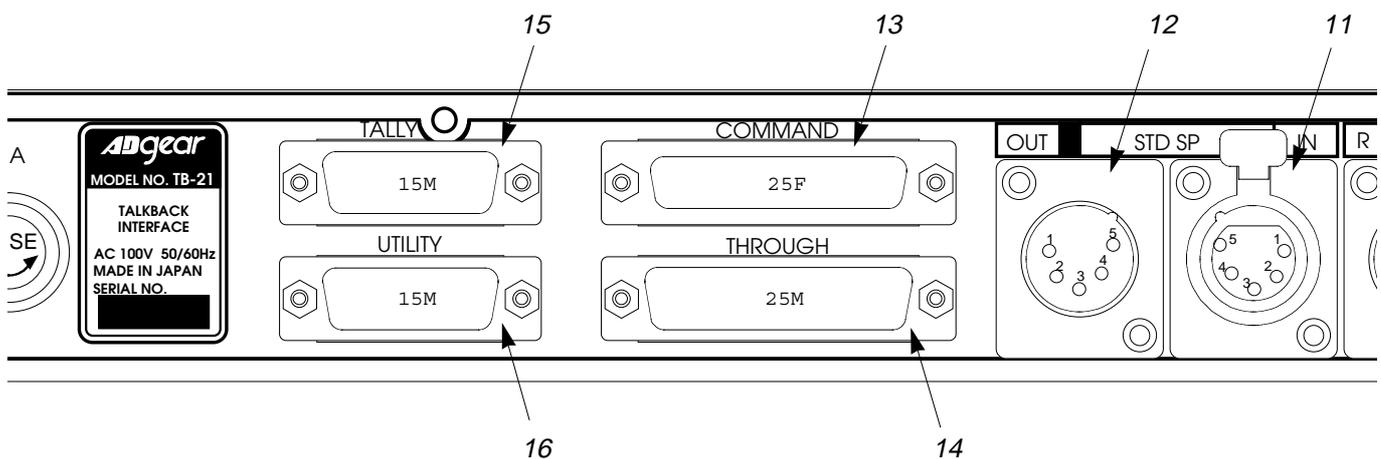
アドギア製AB-1BのCOMMAND INコネクタで必要な信号を一旦このコネクタに入力します。TB-21内部で、トークバックリモートからのCUE制御とミックスし後述のTROUGHコネクタに出力します。

14.THROUGH

アドギア製AB-1BのCOMMAND INコネクタに接続します。

COMMAND IN (DSUB 25ピン メスM2.6ネジ)

ピンNo.	信号
1	GND
14	GND
2	PC COM (A)
15	THRU-A
3	THRU-B
16	STAND BY
4	ON AIR
17	CUE
5	+5V 出力
18	+5V 出力
6	+24V 出力
19	+24V 出力
7	TROUGH コネクタ # 7ピン
20	TROUGH コネクタ # 20ピン
8	TROUGH コネクタ # 8ピン
21	TROUGH コネクタ # 21ピン
9	TROUGH コネクタ # 9ピン
22	TROUGH コネクタ # 22ピン
10	TROUGH コネクタ # 10ピン
23	TROUGH コネクタ # 23ピン
11	TROUGH コネクタ # 11ピン
24	TROUGH コネクタ # 24ピン
12	TROUGH コネクタ # 12ピン
25	TROUGH コネクタ # 25ピン
13	TROUGH コネクタ # 13ピン



15.TALLY

TB SP、TB HPおよび2系統の予備タリーをリレーによるドライ接点で出力します。

16.UTILITY (Dサブ15)

特注対応用の予備コネクタです。

OPERATION

TROUGH (DSUB 25 ピン オスM2.6ネジ)

ピンNo.	信号
1	GND
14	GND
2	PC COM (A)
15	THRU-A
3	THRU-B
16	STAND BY
4	ON AIR
17	CUE
5	+5V 出力
18	+5V 出力
6	+24V 出力
19	+24V 出力
7	COMMAND IN コネクター #7ピン
20	COMMAND IN コネクター #20ピン
8	COMMAND IN コネクター #8ピン
21	COMMAND IN コネクター #21ピン
9	COMMAND IN コネクター #9ピン
22	COMMAND IN コネクター #22ピン
10	COMMAND IN コネクター #10ピン
23	COMMAND IN コネクター #23ピン
11	COMMAND IN コネクター #11ピン
24	COMMAND IN コネクター #24ピン
12	COMMAND IN コネクター #12ピン
25	COMMAND IN コネクター #25ピン
13	COMMAND IN コネクター #13ピン

17.FUSE

1Aの管ヒューズを使用します。

18.AC100V

TB-21のAC入力です。

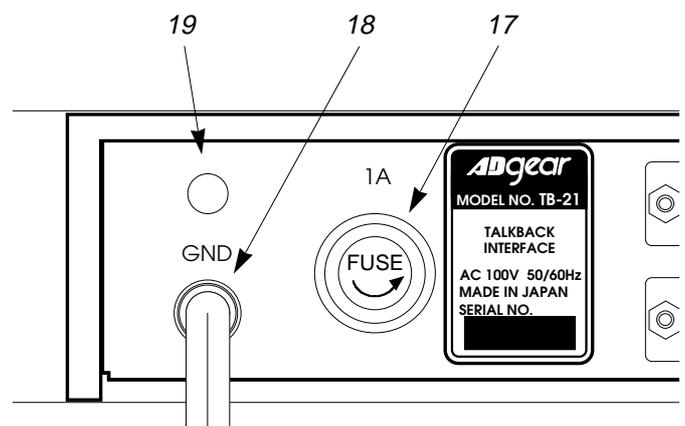
AC100V 50/60Hzで使用して下さい。

19.GND

フレームグランド端子です。

TALLY (DSUB 15 ピン オスM2.6ネジ)

ピンNo.	信号
1	GND
9	GND
2	TB SP (COM)
10	TB SP (NO)
3	TB HP (COM)
11	TB HP (NO)
4	予備1 (COM)
12	予備1 (NO)
5	予備2 (COM)
13	予備2 (NO)
6	NC
14	NC
7	NC
15	NC
8	NC



別売カスケードケーブルのご案内

アドギアでは、TB-21とカフインターフェース「AB-1B」の接続を容易にするため、標準で長さ1mのカスケードケーブルをご用意しています。TB-21とAB-1Bを直接接続する5本のケーブルセットです。接続先詳細は、9ページ「BLOCK DIAGRAM」をご覧ください。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

モニター入力基準レベル+4dBu
最大入力レベル.....+26dBu以上
入力インピーダンス.....10k 電子バランス入力
コネクタXLR-3-31タイプ・2番ホット
リターン・トゥークバック入力.....基準レベル+4dBu
最大入力レベル.....+26dBu以上
入力インピーダンス.....10k 電子バランス入力
コネクタXLR-3-31タイプ・2番ホット
モニター出力基準レベル+4dBu
最大出力レベル

出力インピーダンス100 以下、アンバランス出力
コネクタXLR-3-32タイプ・2番ホット
スタジオスピーカー入力.....基準レベル4dBu
最大入力レベル.....+26dBu以上
入力インピーダンス.....10k 電子バランス入力
コネクタXLR-5-31タイプ

ピンアサイン

- 1.シールド
- 2.Lchホット
- 3.Lchコールド
- 4.Rchホット
- 5.Rchコールド

スタジオスピーカー出力.....基準レベル+4dBu
最大出力レベル

出力インピーダンス100 以下、アンバランス出力
コネクタXLR-5-32タイプ・2番ホット

ピンアサイン

- 1.シールド
- 2.Lchホット
- 3.Lchコールド
- 4.Rchホット
- 5.Rchコールド

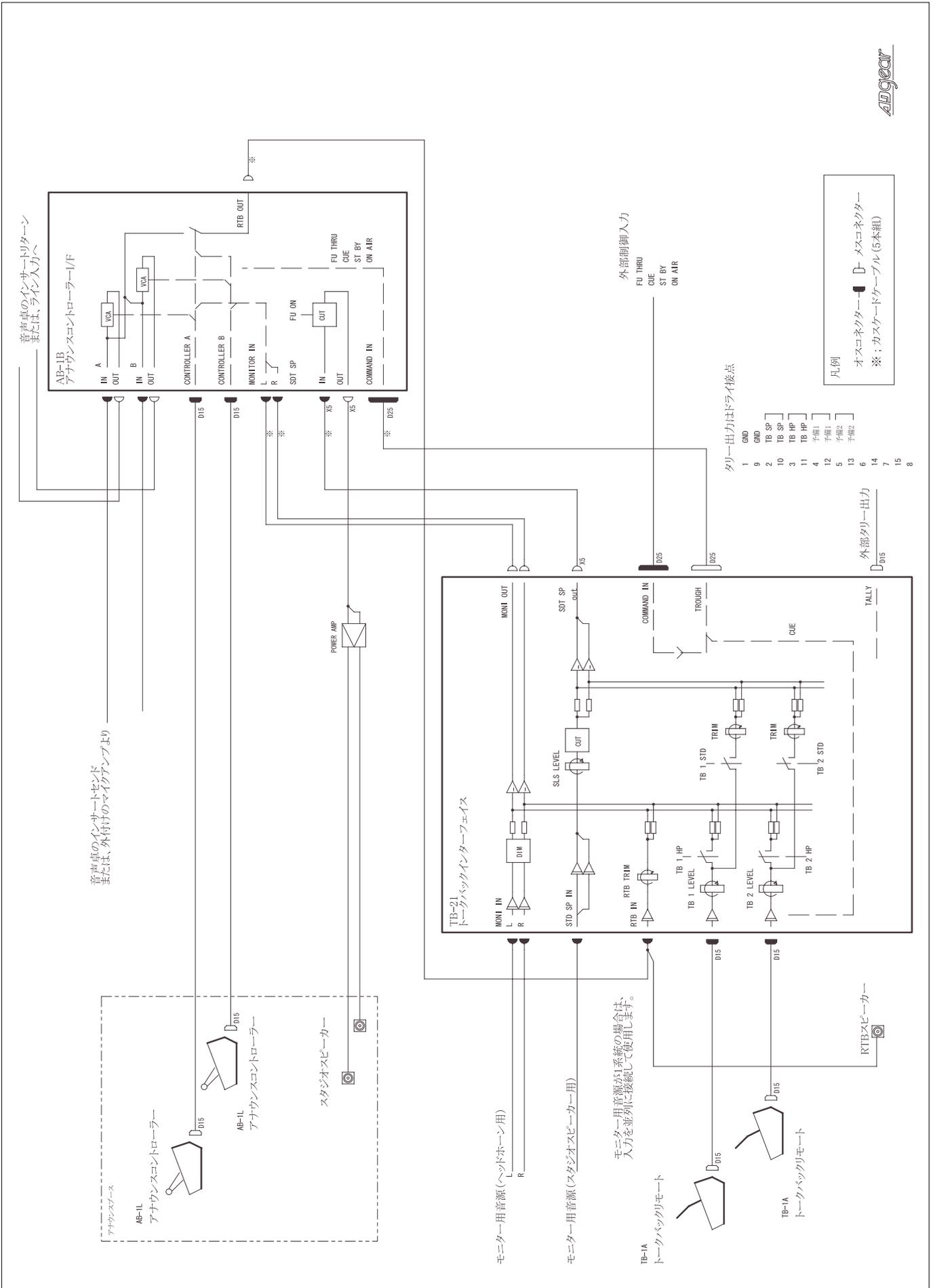
周波数特性+0, -0.5dB 20Hz ~ 20kHz
S/N比90dB以上 (22Hz ~ 22kHz BPF使用)
歪率特性+4dBu出力時 0.05%以下
.....+24dBu出力時 0.10%以下
..... (22Hz ~ 80kHz BPF使用)

消費電力AC100V 50/60Hz
最大20VA (TB-1A2台接続・CUE / TB SP / TB HP
全制御時)
サイズ EIA 19インチ・1U
482 (W) × 44 (H) × 250 (D) mm (但し突起物
は除く。)

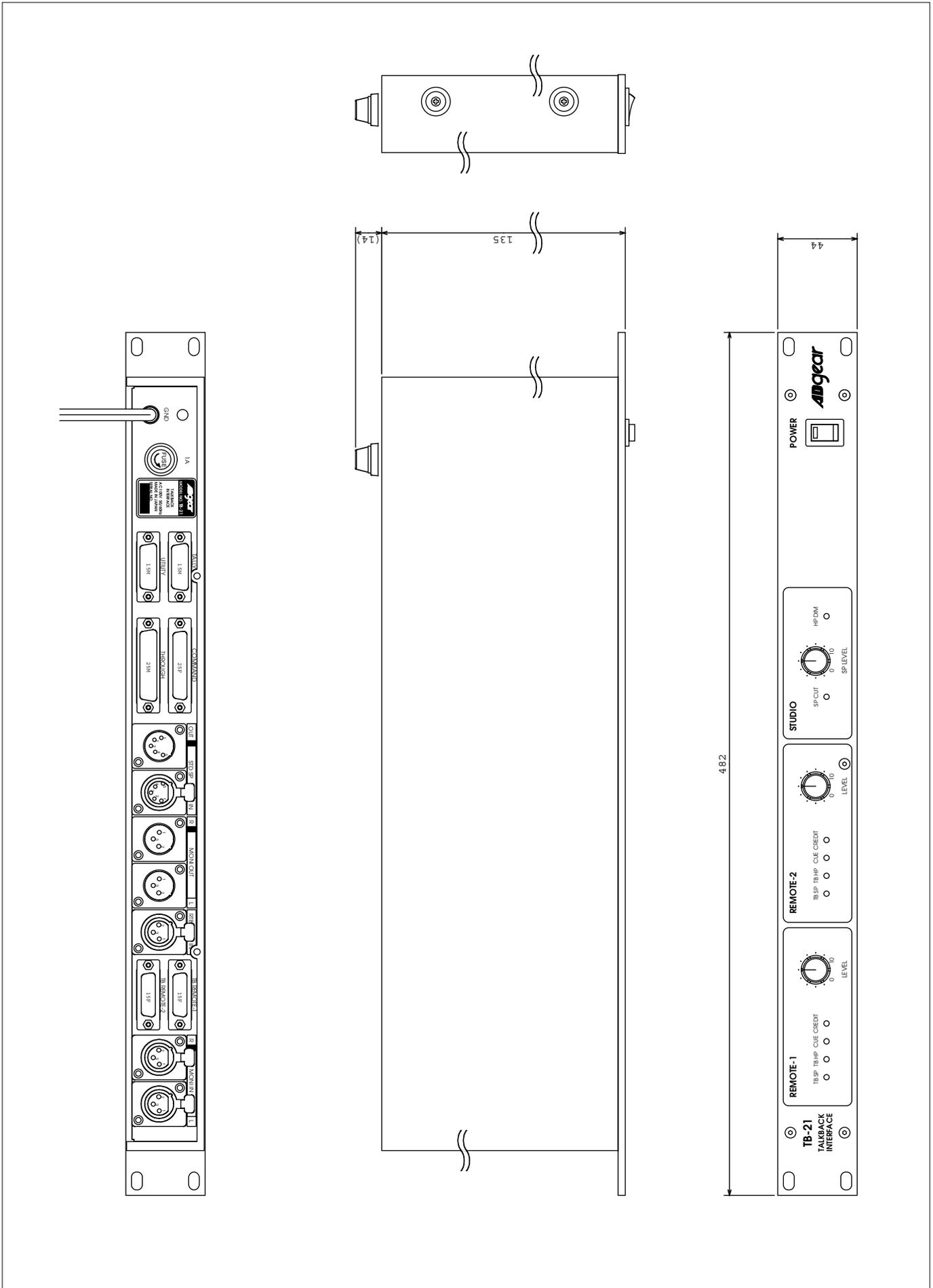
重量約4kg

構成本体 × 1
予備ヒューズ (1A) × 1
インストラクションマニュアル × 1

BLOCK DIAGRAM



APPEARANCE



WARRANTY 製品の保証について

この度は、アイコニック製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。
当社製品は下記の通り保証・サービスをさせていただきます。

御購入後1年間を保証期間とし、この期間中に正常な御使用状態で故障した場合は、無償で修理致します。

製品が故障して修理をお申し付けの場合は、故障前後の御使用状況を詳細にお知らせくださる様、お願い致します。

無償修理は、原則として機器をお持込みによるものと致します。運送業者に依託される場合は、荷造り等に充分御注意下さる様お願い致します。この時、保険を掛ける事をお奨め致します。輸送中の事故は保証範囲に含まれません。

遠隔地へ出張修理の場合は、出張に要する費用を別途お申し受け致します。

保証期間後も、サービスは有償となりますが、引続きアイコニックが責任を持ってサービスさせていただきます。

iconic
ADgear

お問い合わせ

株式会社 アイコニック

〒205-0011 東京都羽村市五ノ神1-15-7

Tel.042-579-0520 Fax.042-579-0529

